

■口腔内粘膜の大きな肉芽がほぼ消失したケース

日本ホメオパシーセンター愛知東海知多
JPHMA 認定ホメオパス No. 0909
日比野 康子（ひびの やすこ）

【目的および症状】

9才 女児。半年前に歯で下唇の内側の粘膜を誤って噛んでしまい、その部分が時間とともに肉芽として腫大してきた。7ミリ粒大あり、肉質は不透明で柔らかい。時々噛んでは、わずかに出血、本人も違和感を感じている。

母親への思慕が強く、将来母親と離れなくてはならないと考えるだけでポロポロと涙を流す。繊細であり、かつ弟への嫉妬からイライラしていることが多い。

両親が不仲であり、笑顔が少ない家庭を寂しく悲しく思っている。

【方法およびタイムライン】

1) 方法 TBR にてレメディーを選択

- | | |
|------------|---|
| 1 : 150 # | 1. 部位-1. 頭部-9. 顔-唇-下の : |
| 2 : 1540 # | 3. 全般-3. 全般-9. 突出物 (腫瘍・病的増殖) -肉質の |
| 3 : 779 # | 3. 全般-1. 精神 (および気質) -1. 精神-不安 |
| 4 : 792 # | 3. 全般-1. 精神 (および気質) -1. 精神-短気 (怒り、攻撃性、など) |
| 5 : 797 # | 3. 全般-1. 精神 (および気質) -1. 精神-悲しさ (憂うつ) |

以上の項目より、Ign. (イグナチア豆) を選択。

・第一回目 2015/07/06

随時	: MT)Thuj. +Staph. +Thuj.	肉質の突出物にあうレメディーは Thuj. と Staph. のみ
朝1	: Nat-m.	不安定な感情の抑圧、悲観、母親への思慕、悲しみの慢性化
朝2	: Med. +Syph. +Carc.	家系的なマヤズム、Ign.、Staph をセットで出していることから
夜1	: Ign.	インナーチャイルドに、RA 記述、唇の内側の症状

・第2回目 2015/09/15

5mm 粒大まで小さくなった。先日強く噛んでしまい、周囲に炎症を起こしている。母親への依頼心が強くなり、暗闇を怖がるようになった。トイレへ行けなくなり、夜中に床で漏らしてしまった。弟へのイライラを噴出させてしまうことはまだ多いが、強く責め立てることが少なくなった。父親に冷たくされると今までは歯を食いしばって堪えていたが、最近は涙がすーっと流れるようになったと本人が話している。

口内の肉芽を中心に精神面にも注目しレメディーを選択。

随時	MT)Thuj +Kali-c. +Thuj.	非常に怖がりであり不安、心配を持っている精神に
朝	Nat-m.	前回と同様
朝	Med.	前回と同様
夜	Bry.	TBR のトップ、唇と親和性が強い。

・第3回目 2015/11/09

一時的に縮小するがすぐにもとのサイズに戻るのを繰り返している。
まだトイレへ一人で行けないが少しずついける時が出てきた。排尿後に残尿感があり、下着が少し汚れてしまうことが多い。
イライラはまだあるが、以前より明らかに少なくなってきた気がする。

随時	MT) Thuj + Thuj. + Nat-m. + Mag-c.	父親との関係、精神の抑圧、繊細な気性に
朝	Sulph.	TBR2 位、介入レメディーとして
朝	Med.	前回と同様
夜	Puls.	TBR トップ、人物像と一致

2) タイムライン

帝王切開で出産直後、要観察のため NICU に入院。

3 才 中耳炎
4 才 中耳炎
5 才 中耳炎
6 才 りんご病
7 才 水疱瘡 両親の不和 父親が目の前で暴れる。

【結果】

突出物は完全には消失していないが、ほぼ分からないまでに縮小した。大きすぎて噛んでしまうこともなくなった。

ある日突然『もう私トイレに一人で行ける。』と宣言し、それ以降本当に一度もついてきてと言わなくなった。もう怖くなくなったという。父親に甘えることが出来なかったが、先日ずっと買ってもらえなかったゲームをどうしても欲しいから、今まで我慢したけど、もう買って欲しい、と切実に泣いて父親に訴えた。こんなことは一度もなかったと母親が話している。残尿感についてはまだ大きな変化はない。

【考察】

淋病マヤズムと症状に合う Thuj. を継続するとともに両親からの影響によるインナーチャイルド対策としてレメディーを選択した。誕生直後に保育器に入り、機械的な音と点滅する光の中で経験した恐怖が出て来たが、レメディーが深く作用して父親や暗闇に対する恐怖心が薄れ、前進することができた。それとともに突出物も退縮していったケースでした。



カテゴリー：[子供]